

Q6. 急に状態が悪くなり、暴言や暴力もあるので心配です。すぐに診てもらえますか？

A6. 認知症の症状は徐々に進むことが多いので、急激に状態が悪くなった場合は、ほかに原因があることがあります。

直近 1～2か月の間に、転倒して頭部を打ったり、体調が悪化したり、環境が大きく変わったりしたことはありませんか。それらの情報と合わせて、急に状態が悪くなったことを、かかりつけ医に相談してください。

認知症疾患医療センターは予約制で、鑑別診断を中心に、治療や対応についての診察を行いますので、激しい行動・心理症状（BPSD）があり、早めの受診を希望される場合は、一般外来、老人専門外来への受診をお勧めしています。

当院の一般外来は、時間外の救急受診をお受けできる体制にありませんので、受付時間内での受診をお願いしています。

受診の際には、今までの経過や治療状況等を知ることでスムーズな診療に繋がりますので、事前にご相談いただくことをお願いしています。



セフィロト病院認知症疾患医療センターは、開設して今年で6年目を迎えました。この間、多くの方に受診いただき、皆様が抱えておられる認知症に対する不安や治療についてのご相談や診断を行っています。

また、受診の前には、地域の先生方や支援者の方々と連携し、早期対応や少しでも今の状況を維持できるような支援につながるよう努めています。

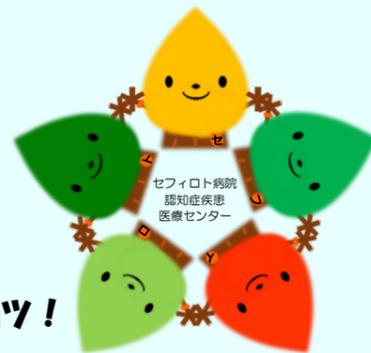
今回、地域の皆様が抱えておられる認知症に関する不安や疑問について、当センターでの経験や蓄積を踏まえて、Q&Aの形で、皆様に還元していきたいと思っております。

認知症「コツ」シリーズとして、今後もお伝えしていければと思いますので、ご活用いただければ幸いです。

セフィロト病院認知症疾患医療センター長

次回は、

**認知症「コツ」シリーズ その2. 予防のコツ!**



発行 社会福祉法人 青祥会

セフィロト病院 認知症疾患医療センター TEL 0749-68-5716

令和3年3月

物忘れや認知症が心配になってきた。どうしたらいいの!?

## 認知症の予防や対策の 認知症「コツ」シリーズ

ご自身やご家族の方で、『近頃、物忘れが増えた気がする、今まで出来ていたことに手間がかかるようになってきた、歳だから仕方がないのか』など、不安に思われていることはありませんか？

「セフィロト病院認知症疾患医療センター」では、そのようなご心配をお持ちの方の、診察と相談を行っています。その不安を少しでも軽減するために、センターでの経験を通じた『認知症の予防や対策のコツ』について、シリーズでお知らせしていきます。

認知症「コツ」シリーズ その1.



### 受診・相談 のコツ

Q1. こんな様子が出てきました。認知症が心配です。

- § 自分で見つけることができるけど、物を置き忘れて、よく探し物をしている。
- § 同じことを何度も聞いたり話したりして、「さっきも話したよ」と言われる。
- § 料理が上手な人だったのに、簡単なものや同じものばかりになってきた。
- § まだあるのにまた買って来て、冷蔵庫が同じ食材ばかりになっている。
- § 買い物で会計するとき、大きなお札ばかり出すので、小銭が増える。
- § なんだか元気がなくて、ぼんやりしていることが増えた。
- § 今まで好きだったことに、興味を持たなくなった。
- § 薬の飲み忘れや間違いが増え、余ったり不足したりする。 など

A1. 上記の例のような「あれ？前と少し違うな」といった違和感を持ったら、お近くの地域包括支援センターに一度ご相談されてはいかがでしょうか。

地域包括支援センターは、高齢者の方の健康や暮らしについて、身近に相談できる場所です。

地域包括支援センターは、長浜市に5か所、米原市に2か所あります。



いろはちゃん

Q2. 受診するには、どうしたらいいでしょう？

A2. 今かかっているお医者さんはおられますか。

ほかの病気や飲んでいる薬の影響も考えられます。まずは、ご自身の体の状態を一番よく知っていて下さるかかりつけの先生に相談してみましょう。

そこで、認知症疾患医療センターへの受診が必要と言われたら、お気軽にご相談ください。

セフィロト病院認知症疾患医療センターでは、ほかの病気との鑑別診断や、困りごとへの対応、今後の日常生活での工夫などについて一緒に相談させていただきます。



Q3. セフィロト病院認知症疾患医療センターには、どのように受診すればいいのですか？

A3. 事前にご連絡ください。診察の予約をお取りします。その際に現在の困りごと、いつからどんな症状があるかをお伺いします。

受診時には、かかりつけの先生の紹介状をご用意ください。今かかっている病気の治療や、飲んでいるお薬などの情報は、診断するうえで大切になってきます。

また、ご本人は気づいていなくても、周囲の方が気づかれていることもありますので、ご本人の日頃の生活状況をよくご存じの方と一緒に受診していただくようお願いしています。

〈受診時にご用意いただくもの〉  
保険証、紹介状、お薬手帳など



Q4. 受診させたいけれど、本人が嫌がるので、「健康診断をしてもらう」と言って連れて行っていいですか。病院でも、認知症の検査をしないとわすれずに対応してもらうことはできますか？

A4. 診察では、ご本人に説明をしたうえで、認知機能を診断するための色々な検査を行います。ご本人の協力が無ければ、検査はできなくなります。

健康診断や、体を診てもらおうなどのつもりで受診されても、ご本人の予想に反する対応となり、その後、余計に受診を拒否してしまわれることにもなりかねません。

家族も心配していることを伝え、早めに専門のところで診てもらえば安心だと話したり、かかりつけ医など、ご本人が信頼されている方から、受診を勧めていただくこともいいかもしれません。



Q5. かかりつけの先生にはまだ相談していませんが、介護サービスの担当の方から、認知症疾患医療センターの受診を勧められました。直接、受診してもいいですか？

A5. もし、かかりつけの先生があれば、困っている状況について相談してみてください。体の病気の影響や、出されている薬が飲めていないことがあるかもしれません。

認知症疾患医療センターへの受診についても相談していただき、センターでの受診が必要とされたら、高血圧や糖尿病などほかの病気の経過や、服薬状況などの情報を共有し、連携しながら、ご本人の診断や治療を考えていくことになります。

また、診察後引き続いて療養を支えるための介護保険サービスを調整していただけるよう、受診時に介護保険の担当者（ケアマネなど）に同席いただくなど、医療と介護のつながりも大切にしています。

